



花輪台のヴィーナス

縄文時代早期の遺跡である花輪台貝塚から発見されました。日本最古級の土偶で、均整のとれた女性のフォルムが表現されています。その美しさから花輪台のヴィーナスと呼ばれています。

庄兵衛台遺跡出土の壺

大平地区にある庄兵衛台遺跡では住居跡が見つかりました。古墳を築いた人々が住んでいた地域と考えられています。住居跡からは壺などの暮らしの遺物が発見されました。



「利根川図志」は、江戸末期の民俗や風俗を書き記した書物。利根川図志をひも解いて、利根町の歴史の源流を訪ねてみましょう。

利根川とともにある流域の暮らし

古代から人々の暮らしは、川の流れとともにあります。私たちの祖先も利根川をはじめとした川とともに歩んできました。水の恵み豊かな利根町域には、今からおよそ8〜9千年前には人々が暮らしていたようです。縄文早期の遺跡、花輪台貝塚などから住居跡や土器が見つかります。時には潤いと恵みをもたらす、時には洪水となつて猛威を振るう：こうして、川の流れとともに利根町の礎は形づくられてきました。

利根川と大地、そして流域に暮らす人々と深い関わりについて記されたのが「利根川図志」です。全6巻中、第3巻に利根町域についての記述があり、現在も残る建物や伝統行事が記録されています。特に興味深いのは、布川河岸のにぎわいについての記述です。対岸であった木下河岸と呼ぶように栄えた当時の布川河岸について、「そのにぎわいは、他の所に倍し、人声もさまざま、きびずを接し合うほど人の往来が激しい。(中略)まさに魚米の地と呼ぶにふさわしい」と繁栄の様子を伝えていきます。当時の利根川は江戸への物資輸送の大動脈として舟運が栄え、沿岸の河岸場はにぎわいを見せていました。布川の金刀比羅神社には当時の繁栄を伝える絵馬が奉納されています。

蛟蛸神社

「門の宮」と「奥の宮」の2社殿からなる神社です。孝徳天皇3年(647年)に水神を、文武天皇2年(700年頃)に土神を祀ったのが始まりと伝えられています。延喜式神名帳にその記述を見ることができ、古い歴史のある神社です。



蛟蛸神社 みずち碑

「みずち」とは竜の形をした大蛇だと言われていいます。昔、利根町の文間台は「親みずち」、取手市の小文間台は「子みずち」に例えられました。織りなす風景が、豊かな水を泳ぐ親子の蛇のようだったと伝えられています。

Discovering Tone History

歴史



探訪



とねがわし 利根川図志

利根川にまつわる歴史、伝説・地理・物産などを調査し、記録した書物。当時の地域を知る資料として、大変貴重なものです。昭和13年（1938年）には柳田國男により復刻され出版されています。



つくまい 神事、尋樫

布川神社の例大祭で奉納されていた舞で、元禄の頃から行われていました。利根町では明治の末頃に途絶えてしまいましたが、利根川図志に当時の装束や祭りのにぎわいの様子を見ることができます。

People have lived in the area of Tone Town with its abundance of water resources for around 8,000 - 9,000 years. Clay pots and other items for living have been discovered at Hanawadai-Kaizuka which are ruins from the early Jomon Period.

There is a description about the Tone Town area in the Tone River History written during the end of the Edo Period, Which is recorded buildings and traditional events remain today.

Around 800 years earlier the Kamakura Road to Tone Town was opened. During the Kamakura Period our town was a vital stop along this central road and we also played an important role in water transportation along the Tone River.



利根川の河童

利根川図志1巻に描かれた「河童」図。葛飾北斎をはじめとした多彩な絵師が挿画を担当しています。

利根町には、歴史の深さを物語る史跡や文化財が地域のみならず、先人たちの想いをつなぐ歴史や文化財

利根町には、歴史の深さを物語る史跡や文化財が地域のみならず、幕府のある鎌倉から全国へと通じる重要な道ができました。「鎌倉街道」です。鎌倉時代は重要な幹線道路沿いのまちとして、江戸時代には河岸を擁する河川交通のまちとして、重要な役割を担い続けてきました。道や川は物資を運ぶだけでなく、多彩な文化の通り道となっていました。行き交った人々の想いが今もこの地にしっかりと受け継がれています。

赤松 宗旦

あかまつ

そうたん

Soutan Akamatsu

赤松宗旦旧居跡

「利根川図志」完成の4年後、文久2年（1862年）に宗旦は57歳でこの世を去りました。現在は、彼が暮らした家がほぼ忠実に再現され一般公開されています。



赤松宗旦

文化3年（1806年）布川生まれ。天保9年（1838年）に同地に医院を開業しています。安政5年（1858年）に利根川流域の歴史や生活、伝説等を描いた「利根川図志」を完成させました。



故郷を愛し、利根川に魅了された生涯

江戸時代末期、「利根川図志」を著した赤松宗旦は、布川出身の医者です。6巻にわたる書物を完成させたのは、安政5年（1858年）。編集にあたっては私財を投じ、資料の収集や実地調査を重ねました。「利根川図志」を開いてみれば、利根川を愛し、故郷の風土を見つめた宗旦の熱い想いを感じます。「民俗学の父」と呼ばれる柳田國男に、大きな影響を与えたと言われています。

布川河岸を愛した江戸時代を代表する俳人

金刀比羅神社境内に「べつたりと 人のなる木や 宮角力」という句碑が建っています。奉納相撲を一目見ようと、大勢の客が詰めかけ、木に登って見物するほどのにぎわいだっただけの様子が描かれています。詠んだのは小林一茶。利根町との関わりが深く、布川の俳人古田月船や赤松宗旦など多彩な人々と交流がありました。何度もこの地を訪れ、布川の河岸をこよなく愛した俳人です。

Prominent haiku poet of the Edo Period that loved the Fukawa shoreline

There is a haiku monument of Issa's at Kotohira Shrine. Issa had a deep connection with other Fukawa people such as Gessen Furuta and Soutan Akamatsu and he visited Tone Town frequently.

Issa Kotohirashi

小林 一茶

こばやし

いっさ

20



薬材用天秤



銚子日記

He was mesmerized by the Tone River and loved his home town

He was a doctor from Fukawa who wrote the Tone River History at the end of the Edo Period. He used his own funds to write and finish the six part series in 1958. It had a significant impact on Kunio Yanagita.

利根町

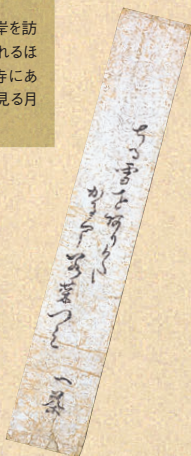
ゆかりの

古田月船

布川の俳人。小林一茶が布川河岸を訪れた時、月船の家に泊まったと伝えられるほど、親交が深かったようです。応順寺にある月船の墓には「花守りが余所の花見る月夜かな」の句が刻まれています。

小林一茶

宝暦13年（1763年）生まれ。江戸時代を代表する俳人の一人。句文集「おらが春」などを著し、2万句にも及ぶ俳句を残しています。



小林一茶の句碑

布川の金刀比羅神社境内に、小林一茶直筆の句が彫られた句碑が建っています。





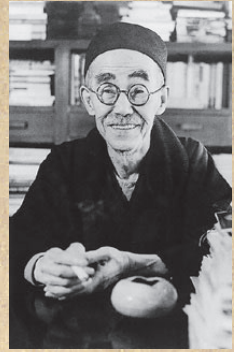
柳田國男記念公苑

旧役場跡地約 2,000m² の敷地の中に柳田國男が少年時代を過ごした旧小川家の母屋と土蔵が移築されています。資料館にもなっており、貴重な資料が公開されています。



柳田國男

明治8年(1875年)生まれ。民俗科学の研究に従事し、昭和26年には文化勲章を受賞。著書に、文学作品としても高い評価を受ける「遠野物語」や、「海上の道」などがあります。昭和37年(1962年)にこの世を去りました。



Kunio Yanagita



間引き絵馬

飢饉や水害に苦しみ、生まれたばかりの子を母が手にかける。明治の頃まで行われていた、間引きの悪習を伝えるものです。こうした悲劇が繰り返されないようにと、徳満寺に奉納された絵馬です。

The father of Japanese folklore

At the age of twelve Kunio Yanagita moved to live with his older brother for two years who operated a hospital in Fukawa. It is said that his experience with reading many documents such as the Tone River History and seeing "Mabiki-Ema" at Tokuman-ji Temple was his starting point for folklore.



小川家氏神の玉

氏神の扉を開け、この美しい玉を見た國男少年が不思議な体験をした、と伝えられています。柳田國男記念公苑に所蔵されています。



日本の「民俗学の父」その原点がここに

日本の民俗学の父と称される柳田國男は、兵庫県に生まれました。12歳の時に故郷を離れ、布川の小川家で医院を開業していた長兄のもとに移り住みます。多感な少年期の2年間をこの利根町で過ごしました。その頃、利根川図志をはじめとした多くの書物を読みふけりました。また、徳満寺の「間引き絵馬」を目にするなど、利根町での経験が民俗学を志す原点となったと言われます。

People Associated with Tone Town

人物伝

日本画家の小川芋銭は、2年間、利根町で過ごしています。芋銭は特に河童の絵を多く残している画家で、「河童の芋銭」として知られています。水豊かなこの地で、水辺の風景や生き物にインスピレーションを得たのかもしれませんが、この時期に描かれた文村周辺の、のどかな農村風景がスケッチ帳に多く残されています。

Japanese painter who drew the rustic scenery of Tone Town

Usen Ogawa is a painter who spent two years in Tone Town and left behind many pictures of Kappa. Pastoral sketches remain of Fumi village and the surrounding area. He may have been inspired by the waterside scenery and living things in the area.

利根町の素朴な田園風景を描いた日本画家

小川芋銭

慶応4年(1868年)生まれ。日本画家。生涯のほとんどを牛久沼の畔で、農業を営みながら暮らしました。昭和13年(1938年)牛久の自宅で亡くなりました。



利根町横須賀引削家の画室にて作品を制作する芋銭。

Usen Ogawa

おがわ

うせん

郷土の文化財

Local Cultural Assets

町に残された文化財の数々。
先人たちが重ねてきた
時の足跡を今に伝えます。
利根町の歴史を訪ねてみましょう。



木造観世音菩薩立像

泉光寺にある立像で、鎌倉から室町初期の作といわれています。鎌倉仏の特色である宗様式を表しており、行基にゆかりのある仏像であるといわれています。



蛟蛸神社 (門の宮・奥の宮)

延喜式神名帳(927年)に「相馬郡一座、蛟蛸神社」と記されているように古い歴史を持っています。現在の「門の宮本殿」(写真:上)は元禄11年(1698年)に、「奥の宮本殿」(写真:下)は元禄16年(1703年)に再建されたものです。



木造両界大日如来坐像

押戸根本寺には「木造両界大日如来坐像」があります(現在、利根町歴史民俗資料館で保存)。法界定印(胎藏界)と智拳印(金剛界)の両界を表した、たいへん珍しい像です。



花輪台貝塚公園

早尾台にある縄文時代早期の遺跡です。今は住宅街の中にある小高い丘が往時の様子をしのばせます。竪穴式住居や土器などの遺物が発見されており、中でもヴィナス型土偶は大変貴重なものです。



布川神社

鎌倉時代の寛元元年に豊島摂津守によって建立された神社で、かつては「布川大明神」という名称でした。布川神社臨時大祭が行われる場所でもあり、また、町指定文化財に登録されている「天の岩戸絵馬」などが奉納されています。



布川貝塚(縄文晩期)

来見寺の境内から布川神社入口にかけて広がっています。骨角器、鹿骨、包丁型石器、土器片などが出土していることから縄文晩期のものと推定されます。



徳満寺本堂

「子育て地藏」の名で親しまれる地藏菩薩があります。毎年、11月に開帳され、地藏まつりも開かれます。また、柳田國男が見て衝撃を受けたといわれる間引き絵馬が奉納されています。



01月
January



成人式

利根町公民館多目的ホールを会場に開催されます。新成人が実行委員となって、自らの成人式を作り上げます。



消防出初め式

正月、年の初めに行われます。消防功労者の表彰をはじめ、消防車両の点検・アトラクシオンなどが実施されます。安全に暮らせるまちづくりのため心新たにする1日です。

02月
February



利根町駅伝大会

2月の第2日曜日に行われる駅伝大会には、町内をはじめ、町外からもたくさんのチームが参加し、地域の交流の場となっています。

07月
July



布川神社臨時大祭

3年に一度、7月末の3日間にわたって行われます。初日、若者が布川神社の石段を上り下りし、水を浴びて禊をします。山車の競演や神輿の渡御で、大いに盛り上がります。



たちまつり 太刀祭

7月の第1日曜日に布川の徳満寺で行われる祭りで、利根川流域の一部に古くから伝わる奇祭です。木製の太刀を担いで門前を練り歩き、悪疫退散を願います。

09月
September



金刀比羅神社奉納相撲

寛政7年（1795年）からはじめられたといわれる伝統行事です。小林一茶が奉納相撲のにぎわいの様子を句に詠んでいます。9月23日に金刀比羅神社下で実施されます。

10月
October



利根町民運動会

10月の第2日曜日に行われる町民運動会には、大人から子どもまでたくさんの人が参加します。地区対抗で行われるリレーなど、多彩な競技が実施されます。

11月
November



文化祭

文化の日を含め2日間にわたって開催されます。利根町公民館や利根町保健福祉センターを会場に、町内の文化サークルの活動や展示などが行われ、たくさんの人でにぎわいます。



利根町地場産業フェスティバル

11月に農業、商業、工業などの地場産業を町内外にPRする目的で開かれるフェスティバルです。新鮮でおいしい地場産品を求めて多くの人が集まります。

- 1月 成人式
- 出初め式
- 2月 利根町駅伝大会
- 7月 太刀祭
- 布川神社臨時大祭
- 8月 利根町民納涼花火大会
- 9月 金刀比羅神社奉納相撲
- 10月 利根町民運動会
- 11月 文化祭
- 利根町地場産業フェスティバル

Tracing the History of Tone Town

【年表】利根町の

軌跡をたどる



堤防補強前の栄橋付近
昭和31年4月 (1956年)



落成した旧役場庁舎
昭和33年 (1958年)



町村合併時の役場職員記念写真
昭和30年1月 (1955年)

利根町が歩んできた60年の軌跡。

激動の時代を乗り越え、一步一步、未来へ。

まちの礎を築いてきた先人たちの思いをたどる。

1965年

昭和44年

昭和43年

昭和40年

昭和39年

昭和38年

1960年

昭和36年

昭和35年

昭和33年

昭和32年

昭和31年

1955年

昭和30年

1月1日、布川町、文村、文間村、東文間村の1町3村が合併して「利根町」が誕生

布川町役場に本庁舎を置く（現在の商工会の位置）

初代町長に山田正雄氏就任（昭和30年1月30日～4月1日／昭和30年

4月30日～昭和38年4月29日）

国勢調査 人口9,746人

4月1日、旧町村単位の役場支所を廃止

利根町有線放送開設

町新庁舎落成（現在の柳田國男記念公苑の位置）

町営簡易水道供給開始

利根町公会堂完成（現在の商工会の位置）

国勢調査 人口9,279人

利根町ほか6市町村による伝染病隔離病舎建設

利根町食生活改善推進員協議会結成

町長改選。2代目町長に加納久頭氏就任（昭和38年4月30日～昭和

46年4月29日）

広報とね創刊

公募により町章制定／国勢調査 人口8,742人

布川中学校、文間中学校を廃止し、利根中学校を設置

「交通安全町」を宣言「利根町交通安全憲章」を制定

農業構造改善事業による大房地区ほ場整備完成

1980年

1975年

1970年

昭和45年

利根中学校校舎完成（現在の日本ウルネススポーツ大学第1キャンパス市街化区域及び市街化調整区域を決定）

国勢調査 人口8,262人

昭和46年

町長改選。3代目町長に小島榮一郎氏就任（昭和46年4月30日〜昭和54年4月29日）

新「栄橋」及び県道千葉電ヶ崎線バイパス完成、開通

昭和47年

新「戸田井橋」完成、開通

昭和48年

布川小学校新築（現在のウルネススポーツ大学第2キャンパス）

町の木「サクラ」、町の花「カンナ」を一般公募により制定

昭和49年

利根町中央公民館完成（現在の利根町生涯学習センターの位置）

昭和50年

町村合併20周年記念式典開催

文間小学校新築／国勢調査 人口9,504人

昭和52年

利根浄水場完成

文小学校新築（現在の位置に移転）／利根町公共下水道供用開始

昭和54年

電ヶ崎消防署利根出張所庁舎完成（現在の位置に移転）

「利根町史」第1巻発刊

町長改選。4代目町長に鈴木嘉昌氏就任（昭和54年4月30日〜平成7年4月29日）／産業道路全面開通

利根緑地（運動公園）完成

昭和55年

国勢調査 人口14,378人（人口増加率県内第4位）



現在の栄橋(手前)と初代栄橋(奥)昭和46年11月(1971年)



空から見た文間地区(写真:上)昭和48年頃(1973年)
空から見た布川地区(写真:下)昭和49年頃(1974年)



交通安全教室 昭和56年(1981年)

1990年

1985年

昭和56年

昭和57年

昭和59年

昭和60年

昭和62年

昭和63年

平成元年

平成2年

平成4年

文間地区農村集落センター完成

台風15号による大雨で高須橋上流200mの小貝川堤防決壊

利根町保健センター完成（現在の利根町民すゝやか交流センター）

上曾根運動公園完成

利根町立歴史民俗資料館完成

太子堂小学校開校（旧布川小学校から分離）（現在の布川小学校）

新館中学校開校（旧利根中学校から分離）（現在の利根中学校）

町道104・105号線全面開通

利根町公民館完成

「利根町民憲章」制定

町の鳥「ヨシキリ」を一般公募により制定

町村合併30周年記念式典開催

東文間小学校新築

国勢調査 人口19,762人（人口増加率県内第1位）

利根町福祉センター完成（老人福祉センター、心身障害者福祉センター、デイサービスセンターを併設）（現在の利根町保健福祉センター）

赤松宗旦旧居を復元

町新庁舎現在地に落成（7月17日業務開始、7月29日竣工式）

利根町営公園完成（1,006区画）

国勢調査 人口20,511人

利根町東部農村集落センター完成

利根町合併30周年記念式典



写真©株式会社新潮社

小貝川が決壊し、田舟が使われる様子(写真:上)
高須橋上流200mのところで決壊する小貝川(写真:下)
昭和56年8月(1981年)



利根町合併30周年記念式典
昭和60年(1985年)



利根町新庁舎竣工式典
平成元年(1989年)



利根町生涯学習センター竣工 平成14年 (2002年)



利根町合併40周年記念式典、平成7年 (1995年)



「利根地固め唄」茨城県指定
文化財に指定 平成14年 (2002年)



利根親水公園オープン
平成13年 (2001年)



利根町地域防災無線運用開始
平成7年 (1995年)

2000年

平成14年
平成13年
平成12年

スーパードーム防整備事業着工
国勢調査 人口19,033人
利根親水公園オープン
フリフリグループ体操開始
利根町生涯学習センター完成

「利根地固め唄」茨城県指定文化財(無形民俗文化財)に指定

1995年

平成7年
平成6年

柳田國男記念公苑完成
利根町国保診療所完成(現在の位置に移転)
利根東部基盤整備事業完了
農免道路(町道2010号線2194号線/立木、押付本田)開通
町村合併40周年記念式典開催
町長改選。5代目町長に若泉隆志氏就任(平成7年4月30日、平成11年4月29日)
布川地区コミュニティセンター完成
利根町地域防災無線(固定系)運用開始
国勢調査 人口20,202人
利根町図書館完成
利根地区交番完成
福祉バス一般開放スタート
町長改選。6代目町長に遠山務氏就任(平成11年4月30日、平成17年7月3日)



利根中学校開校式
平成19年(2007年)



女性消防団結成/
平成16年(2004年)



東日本大震災時の様子
利根町図書館(写真:上)
平成23年(2011年)



若草大橋有料道路開通記念式典 平成18年4月(2006年)

2015年

2010年

2005年

平成27年

平成26年

平成24年

平成23年

平成22年

平成21年

平成20年

平成19年

平成18年

平成17年

平成16年

利根地区基盤整備事業完了

利根町リハビリ体操指導士の会設立

利根川桜つつみ整備事業完成(桜のオーナーを認定)

町長改選。7代目町長に井原正光氏就任(平成17年7月24日) 平成21年7月23日)

国勢調査 人口18,024人

若草大橋有料道路開通

新「利根中学校」現在地に開校(利根中学校と新館中学校が統合)

新「布川小学校」現在地に開校(布川小学校と太子堂小学校が統合)

新「文間小学校」現在地に開校(文間小学校と東文間小学校が統合)

町長改選。8代目町長に遠山務氏就任(平成21年7月24日) 現在

国勢調査 人口17,473人

東日本大震災発生。震度5弱を観測(電気、水道、通信、道路

建物など被害を受ける)

利根町水道事業が茨城県南水道企業団へ統合

日本ウェルネススポーツ大学開学(旧利根中学校・旧布川小学校)

利根町シャープ太陽光発電所発電開始(利根町立木地内町有地約6

ヘクタール)

利根町観光協会イメージキャラクター「とねりん」

利根町制施行60周年記念式典開催



利根町観光協会
イメージキャラクター「とねりん」

60周年記念事業

60th Anniversary Commemorative Project for Tone Town

昭和30年に誕生した利根町。

平成27年1月1日に60周年を迎え、

さまざまな記念事業が実施、計画されています。

60年の歩みを礎にさらなる飛躍を

利根町は、平成27年1月1日に、町制施行60周年を迎えました。節目の年となる平成27年度は、これまでのまちの歩みを振り返り、先人の労苦と業績に感謝するとともに、この節目となる機会を捉え、将来に向かって、夢と希望あふれる利根町のさらなる飛躍への糸口となるような記念事業を実施しました。

この記念事業は、利根町の良さと魅力を効果的に発信し、町民のまちへの愛着感の高揚を図るとともに、町内外に対しても利根町の認知度、好感度を高めてもらい、定住あるいは交流の地としての定着を促進させることを目的としています。また、提案や参加などの参画を通じて、町政への関心を高め、町民との協働による町政の推進を図るものとなっています。



第30回利根町駅伝大会



2015

主な記念事業 (平成27年9月末現在)

- 2月15日(日) 第30回利根町駅伝大会
- 5月30日(土) 第44回 利根町民運動会
- 6月 6日(土) 第17回音のまちTONE ふれあいコンサート
- 8月22日(土) 利根町民納涼花火大会
- 9月24日(木) 米国空軍太平洋音楽隊コンサート
- 9月27日(日) 利根町敬老会
- 10月 1日(日) 利根町写真展
~7日(水)
- 10月25日(日) 開運 なんでも鑑定団 出張鑑定
- 11月 2日(月) 利根町文化祭・利根町地場産業フェスティバル
~3日(火)
- 11月 8日(日) 利根町制施行60周年記念式典
- 11月14日(土) 青島 広志おしゃべりコンサート

Further Advancements Based on Our 60 Year History

On January 1, 2015, Tone Town celebrated its 60th anniversary of its founding. Looking back at our history we are thankful for the hard work and results of our ancestors and held many commemorative events to make Tone Town a place with even bigger dreams and desires.

利根町制施行60周年記念ロゴマーク

豊かな自然に恵まれた利根町。雄大に流れる利根川と、それを照らし続ける太陽。これまでの歴史と、これからの未来。それらを象徴としてデザインに取り入れました。



(デザイン:利根町在住 正木 浩司氏 東京芸術大学非常勤講師)

第4次利根町総合振興計画。

それは、利根町の将来を見据えたまちづくりの計画です。

町民と行政の未来への道筋となるものです。

誰もが安心して

A Place Where Everyone Lives in Comfort and Prosperity
4th Tone Town General Promotion Plan

豊かに生活できるまち



基本方針1 安全で快適な住みよいまちづくり

町の立地特性や地域構造を的確に見極めながら、自然・田園環境と都市機能がバランスよく調和した土地利用、都市基盤の充実を図り、元氣な町民生活の環境条件のさらなる向上を進めていきます。

基本方針2 安心して暮らせる人にやさしいまちづくり

本格的な高齢社会の時代を迎え、誰もが生き生きと安心して暮らせるよう、福祉・保健・医療が統合した助け合いの仕組みを確かなものにするともに、子どもを産み育てやすい環境をつくり、町中に元氣とやさしさをみながら生きていきます。

基本方針3 豊かなところと創造性あふれるまちづくり

明日を担う健全な子どもを地域全体で育てるとともに、町民が生涯にわたって意欲や適性等に応じた学習や文化・スポーツ活動、さらには様々な交流活動を展開することで、豊かで創造性のある元氣なところを育んでいきます。

基本方針4 活力に満ちた人のふれあいまちづくり

これまでの農業を中心とした町の産業構造を、時代の流れや地域特性に適合した各種産業が複合的に展開する構造に変えていくことで、地域経済をより元氣なものにし、町の発展の基礎を確かなものにしていきます。

基本方針5 町民によるあかるいまちづくり

行財政の健全な運営、効率化等に努めるとともに、すべての町民が地域での連帯を深め、積極的にまちづくりに参画し、行政とともに元氣な行動力を発揮できるよう、より住みよい開かれた地域社会の形成を目指していきます。



安全で快適な 住みよいまちづくり



花がいっぱいの公園整備

古代ハスやアジサイなど、季節の草花で彩られる利根親水公園をはじめ、緑豊かな公園を整備しています。



防犯灯のLED化を推進

防犯対策事業として、まちで管理している全ての防犯灯を、明るさや耐久性にすぐれ、また長期的にみて経済的なLED防犯灯に変更しました。

Pick up!!

出力3.8メガワットの 大規模太陽光発電施設 メガソーラー

立木地区の町有地に建設が進められてきたメガソーラーが平成26年1月から稼働しています。1年間で、一般家庭約1,195世帯が1年間に消費する電力に相当する約434万kwを発電することができます。



太陽光発電システム設置費補助金

地球温暖化の原因である温室効果ガスの削減を図り、新エネルギーの導入を促進するため、太陽光発電システムを新たに設置する方に対して、設置に要する費用の一部を予算の範囲内で補助しています。

我が家はオール電化なので、利根町の補助があるタイミングで取り付けようと思いました。節電を意識するようになり、電気料金も安くなりました。

利根町在住

矢口 怜奈さん
Ms. Rena Yaguchi

毎日の「安心」と 「快適」のために

東日本大震災の教訓を活かし、まちでは平成25年度に地域防災計画の見直しを行い、職員による防災訓練の実施はじめ、自主防災組織の育成に取り組んでいます。また、魅力ある市街地の形成と、優良農地や未利用地となつていく町有地の適正かつ合理的、効果的な土地利用を目指しています。道路整備については、通行の安全性と利便性を確保するため、維持補修、改修整備を計画的に進

めています。東日本大震災の教訓を活かし、まちでは平成25年度に地域防災計画の見直しを行い、職員による防災訓練の実施はじめ、自主防災組織の育成に取り組んでいます。また、魅力ある市街地の形成と、優良農地や未利用地となつていく町有地の適正かつ合理的、効果的な土地利用を目指しています。道路整備については、通行の安全性と利便性を確保するため、維持補修、改修整備を計画的に進めています。加えて、安全な水道水の供給と、健全な下水道の整備により、快適な生活環境の維持に努めています。

Creating a Safe and Comfortable Place to Live

In 2013 we revised our local disaster prevention plan and are involved in disaster prevention training and developing a voluntary disaster prevention organization. Our aim is to form an attractive urban area and effective utilization of space. Maintenance and management of roads, developing and promoting regional core routes and establishing a broad-based public transportation system are also in the plan. We have 'Fureai Taxi' and Welfare Bus services. We are working hard to develop water and sewage systems to maintain a comfortable living environment for all.



安心して暮らせる 人にやさしいまちづくり



乳幼児健診・相談

お子さんの発達や離乳食など、育児に関する健診や相談を実施しています。3～4か月児健診、6～7か月児育児相談、1歳6か月児健診、3歳児健診、3歳児眼の健診などがあります。



福祉バス(福ちゃん号)

無料でどなたでも利用できるバスです。利根町保健福祉センターをはじめ、利根町公民館、利根町図書館、役場などを巡回しています。



Pick up!!

とことん子育てを 応援する町です。

未就園のお子さんと保護者の方を対象に、月曜日から金曜日まで、お昼寝以外の時間にご利用いただけます。年齢別に3クラスあるほか、赤ちゃんの日、外遊びの日、お母さんのお楽しみの日などを企画しています。遊びながら子育ての悩みや困り事などをお聞きしています。



何かかももやしたことがあれば、とにかく遊びに来てみてください。

とね子育て支援センター
(文間保育園)

川上 計美 さん
Ms. Kazumi Kawakami

笑顔と笑顔が 集まるまち

全ての町民が、住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができるよう、福祉施策の充実を図っています。利根町では、ボランティア主体による介護予防活動が非常に活発で、ふれあいサロンやフリフリグッパ―体操、シルバリーハビリ体操などが行われています。

そのほかにも、予防接種や各種健診などを実施しています。

平成27年度から子ども子育て新制度がスタートし、町内には保育所(3か所)と認定こども園(幼

稚園型2か所、事業所内保育所(1か所)があります。独自の子育て支援策として、出生の日から中学3年生までの医療費無料化をはじめ、第2子以降の子どもに対する子育て応援手当、町内小・中学校に在籍する3人目以降の給食費無料などを実施しています。各小学校ごとに児童クラブも設置しています。

また、同時に、障がいのある方も、社会に参加しながら安心して地域で暮らせるよう、支援を行っています。

Community-building for Citizens to Live In Peace and Comfort

Tone Town has a wealth of welfare facility options. Our town has a wide variety of preventative care solutions and activities for elders offered by volunteers. There are also preventative shots and various health checkups you can have as well. There are three certified daycare centers, two certified childcare centers and one work place daycare center. Tone Town offers free medical care for children up to grade 3 in middle school, assistance for your second or later children and other unique support services. We also help the disabled participate in society and live in Tone Town.

Pick up!!

いつも笑顔で、人の目を見て
お話ししましょう、聞きましょう

放課後子ども教室は、利根町教育委員会が設置した教室で、子どもたちが安心して過ごせる子どもたちの活動拠点です。児童クラブとは異なり、保護者の就労状況などにかかわらず、1年生から6年生まで利用することができます。書道や自然観察、お茶のお稽古、図画工作など、学習だけではないさまざまな取り組みを実施しています。



異学年交流の中でともに
学びあい、成長できる教室
です。

利根町放課後子ども教室
(文小学校内)コーディネーター
作原 ひろみさん
Ms. Hiromi Sakuhara

豊かなところと
創造性あふれるまちづくり

ともに学びあい、育ちあう

利根町の未来を担う子どもたちは、まちの宝物です。子どもたちの個性を生かしながら、心身ともに健やかに成長していけるよう、教育環境の充実を図っています。

平成27年度には、布川小学校、利根中学校の大規模改修事業（外部改修）や、全小中学校の普通教室にエアコンを設置、屋内運動場の天井等落下防止対策を実施します。中学校にALT（外国語指導助手）を配置し、英語教諭とのチームティーチン

グを行うとともに、小学校にALT1名を配置し、きめ細やかな指導を行っています。また、文小学校に放課後子ども教室を設置しているほか、地産地消のもと、安全で美味しい学校給食を提供しています。

生涯学習については、豊かな心と健康な体を育成するため、とねワイワイくらぶをはじめ、さまざまなスポーツや文化活動の機会と場所を提供しています

Community-building With a Good Mindset and Creative People

We have renovated school facilities to provide a better learning environment by installing air conditioners in all elementary and middle school classrooms. Measures have been put into place to prevent falling objects from the ceiling in indoor gymnasiums. ALT have been assigned to elementary and middle schools and our school lunches include safe and tasty local produce. We offer opportunities and locations for sports and cultural activities for life-long learning.



利根町民運動会

子どもからお年寄りまで、多くの参加がある町民運動会。町民が一同に会って汗を流します。毎回、たいへんな盛り上がりが見えます。



地場産品の学校給食

小中学校において、利根町産の農産物や地域の特性を生かした献立を取り入れた給食を提供しています。郷土の食に対する感謝の気持ちをほぐみ、食文化継承を目指しています。

活力に満ちた 人のふれあうまちづくり

にぎわいと活力があふれるまち

生き生きと働く町民の笑顔は、まちに活力を与えてくれます。

利根町の主要産業は農業です。

中でも、全耕地面積の約9割を水稲が占めています。町内の農

家戸数は年々減少傾向にあり、また高齢化も進んでいます。その

ため、生産基盤の整備を推進するとともに、担い手農家の経営の

近代化を支援し、認定農業者や農業法人などの経営改善支援を

進めています。同時に、地場農産物を活用した商品開発や六次産業化を支援し、特色ある農業

の形成に力を入れています。

商工業については、利根町内共通商品券の販売促進を支援する

とともに、商店や商店街の活性化と充実を図っています。

また、利根町企業立地促進条例を制定し、県内トップクラスの優遇制度を設け、優良企業の誘致を推進しています。

そのほかにも、利根町の自然景観や伝統行事、イベントなどの観光資源をPRし、まちの活性化を図っています。

そのほかにも、利根町の自然景観や伝統行事、イベントなどの観光資源をPRし、まちの活性化を図っています。

Community-building for Active Citizens

We are developing our infrastructure and supporting management improvements to farms to promote agriculture which is a major industry in Tone Town along with developing products and sixth industries that utilize local products. For commercial entities we are promoting the sale of product coupons in Tone Town to revitalize shopping districts. We have established ordinances to promote the utilization of land by industry and our incentives are some of the best in the prefecture. Tourist resources are also being promoted to revitalize the industry.

農業生産基盤の整備

農業所得の向上や営農環境の改善に努めていく必要があることから、生産基盤の充実や農業経営の高度化を目指し、地域農業の活性化を推進しています。

Pick up!!

まちを盛り上げる 利根町地場産業フェスティバル

平成27年度で8回目となる地場産業フェスティバルは、保健福祉センター駐車場を会場に開催されます。地元産の野菜や花、味噌、お米、米粉、銘菓など、まちの地場産品がずらりと勢揃いします。つきたてのお餅もふるまわれ、町内産コシヒカリの無料配布とともに、大人気です。町民の皆さんに、地場産品の良さを知ってもらえるよう取り組んでいます。



利根町産の米粉を使った商品の開発に取り組んでいます。



利根町地場産業推進協議会 会長

寺島 忠雄さん
Mr. Tadao Terajima



利根農産物直売所

新鮮な地元農家のとれたて野菜の直売所です。コロッケをはじめとした惣菜類も人気です。



町民による あかるいまちづくり

町民の力を まちづくりに

多くのボランティア団体や自治会が、健康や介護予防、地域行事など、さまざまな分野で活躍しており、地域の力となっています。地域活動の活性化を支援するために、町民活動サイト「とねっと」を開設しているほか、布川地区コミュニティセンターや利根町生涯学習センター、利根町公民館などを地域交流の場として、有効活用しています。

また、旧利根中学校・旧布川小学校跡地に開学した「日本ウェルネススポーツ大学」と連携協定を締結しており、災害時の避難所提供やまちのイベントへの参加などに協力してもらっています。

そのほかにも町民の声を広く町政に生かすために、パブリックコメントや広聴活動を行っています。広報活動についても、「広報とね」や町公式ホームページをはじめ、情報メール一斉配信サービスや出前講座の充実に努めています。

さらに、行政評価システムの導入など行政改革の推進を図り、効率的な行政運営を図るとともに、住民サービスの向上に努めています。

地域活動の推進

町民の皆さんが持っている能力や経験、意欲を、よりよい地域づくりのために活かしていくために、担い手づくりを推進しています。

Pick up!!

日本ウェルネススポーツ大学との連携事業

利根町と連携協定を締結しており、公開講座をはじめ、町民運動会への参加や駅伝大会、小学校陸上記録会のお手伝いなどをさせていただいています。ベトナムやスリランカなどからの留学生もいます。地元農家さんのご好意で、田植えやしめ縄作りなどを体験させていただき、とても喜んでいます。環境の良いこの利根町で、健康で心豊かに、生き生きと過ごせるウェルNESSなまちづくりを、我々も応援させていただけたらと思っています。



地元の方と交流を深めウェルNESSなまちづくりを応援していきたいですね。



日本ウェルネススポーツ大学
スポーツプロモーション学部 准教授
江口 秀幸先生
Mr. Hideyuki Eguchi



窓口サービスの充実

多様化する住民ニーズを把握しながら、親切丁寧に、そして迅速に、窓口対応を行っています。



町議会は、選挙によって選ばれた議員で構成されるもので、利根町の主要な意志を決定する議決機関です。

町議会議員の定数は、条例で定められており、利根町の場合は12人の議員によって議会が構成されています。

3月、6月、9月、12月の年4回行われる定例会と、必要に応じて招集される臨時会があり、予算をはじめ、条例などの議決事項の審議をしたり、請願の処理を行っています。さらに専門的な審議を行うために、総務産業建設常任委員会と厚生文教常任委員会が設けられています。

議会の様子は傍聴することができます。ほか、会議録の内容を町公式ホームページで閲覧することができます。

利根町の未来を創るまちづくりの主人公は、町民一人ひとりです。

まちづくりの方針を審議し、
決定するのが、町議会の役割です。



井原 正光 議長
Chairperson Masamitsu Ihara

**Town Council for Deciding
Community-building Policy**

The town council is made up of 12 elected members that hold four regular meetings a year and some extraordinary meetings. The budget, ordinances and other topics are discussed at these meetings. Citizens can sit in on the meetings and the minutes can be read on our homepage.

本会議場
Assembly hall



利根町町民憲章

わたくしたちは、大利根の豊かな流れと緑に恵まれた大地をふるさととする利根町民です。

この郷土と歴史を誇りとし、人の和と力を集め、いっそう住みよい町づくりをめざして、ここに町民憲章を定めます。

- 一、自然を守り、水と緑の豊かなまちをつくりましょう。
- 一、教養を深め、伝統ある文化をそだてましょう。
- 一、人を愛し、ふれあいの輪をひろげましょう。
- 一、体をきたえ、仕事にはげみ、明るい家庭をきずきましょう。
- 一、心を合わせ、未来にはばたく若い力をのばしましょう。

昭和60年8月1日制定

利根町民の歌

作詞 本多 正雄
作曲 小森 昭宏
編曲 小森 昭宏

一
若草匂う 青空を
映して利根の ひかる水
むすぶ人の和 あたたかに
水と緑の ゆたかな この町を
ああ 楽しく 育くむわれら
利根町われら

二
堤は長く 野はひらけ
大地をわたり かおる風
そろう足並 たからかに
水と緑の あふれる この町を
ああ 仲よく 愛するわれら
利根町われら

三
実りを誇る 相馬田の
ここにも燃える 花カンナ
創る文化も すこやかに
水と緑の かがやく この町を
ああ 明るく 担えるわれら
利根町われら

利根町音頭

作詞 兼四郎
補作詞 澤 兼四郎
作曲 市川 忠夫
編曲 池多 孝春
唄 三沢 あけみ

一
ハァー(ソレ)ソレ(ソレ)
水と緑の 相馬の郷は
情け細やか よいところ
今年も行きたい 地蔵の市へ
好きなあなただと 二人連れ ソレ
※みんなヨカバ、さわやかに
利根町音頭で
ソレソレソレソレソレソレ

二
ハァー(ソレ)ソレ(ソレ)
富士が見おろす 栄の橋は
そよ涼風 人の波
灯籠流しの 浴衣の裾を
嫁と姑が かはいあう ソレ
※くりかえし

三
ハァー(ソレ)ソレ(ソレ)
利根の流れと 二階に暮らす
恵み豊かな 米どころ
加納のカマバの 本太娘が踊りや
月も浮かれて 顔を出す ソレ
※くりかえし

四
ハァー(ソレ)ソレ(ソレ)
布川祭りの 笛の音きけば
幼馴染も 皆帰る
神輿をかついで、ふれ合う肩に
明日の勇気が わてくる ソレ
※くりかえし

五
ハァー(ソレ)ソレ(ソレ)
いつの世でも 歴史の跡を
語りつがれる 求道寺
家康ゆかりの 松曾え梅は
利根川図志にも 名を残す ソレ
※くりかえし

六
ハァー(ソレ)ソレ(ソレ)
立木台地は 自然が自慢
四季の音りが なつかしい
わが家を守る 蛟蟻は
恋の利益 どなたにも ソレ
※くりかえし

七
ハァー(ソレ)ソレ(ソレ)
梅花やさしい 道真公に
両手合わせる 親子連れ
合格祈願に 心をこめた
千羽鶴さえ いらいら ソレ
※くりかえし

八
ハァー(ソレ)ソレ(ソレ)
老いも若きも 心は同じ
みんなとねっこ 気もかよう
手に手を取って 励まし合えは
町は繁昌の 灯がゆるる ソレ
※くりかえし



60th
記念キャンペーン

利根町勢要覧
2015



A. 米どころ利根の風景

町内に広がる美しい田園風景は、いつまでも残したいふるさとの宝です。

B. 利根川沿いの桜

利根川に沿って、桜並木が約1.5kmにわたって続いています。

「送って伝える、

ふるさと

の魅力」

POST CARD

こちらに切手をお貼りください。



MESSAGE

FROM

応募券
利根町60th
記念キャンペーン

PRESENT

Step 1 大切な人に、このハガキにメッセージを記載し、送ります。

Step 2 このハガキを受け取った方は、ハガキの一部についている応募券を市販のハガキに貼り、送った方と受け取った方の郵便番号、住所、お名前、年齢を記入の上、下記宛先にお送りください。

Step 3 抽選で利根町名産のお米「とねの舞」(5kg)を100組(200名)様にプレゼントします。当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

【応募〆切】 平成28年2月28日消印有効
【送付先】 利根町役場総務課 絵ハガキキャンペーン係
〒300-1696 茨城県北相馬郡利根町布川 841-1
【お問い合わせ】 TEL: 0297-68-2211

POST CARD

こちらに切手をお貼りください。



MESSAGE

FROM

応募券
利根町60th
記念キャンペーン

PRESENT

Step 1 大切な人に、このハガキにメッセージを記載し、送ります。

Step 2 このハガキを受け取った方は、ハガキの一部についている応募券を市販のハガキに貼り、送った方と受け取った方の郵便番号、住所、お名前、年齢を記入の上、下記宛先にお送りください。

Step 3 抽選で利根町名産のお米「とねの舞」(5kg)を100組(200名)様にプレゼントします。当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

【応募〆切】 平成28年2月28日消印有効
【送付先】 利根町役場総務課 絵ハガキキャンペーン係
〒300-1696 茨城県北相馬郡利根町布川 841-1
【お問い合わせ】 TEL: 0297-68-2211



「送って伝える、

ふるさと「の魅力」

PRESENT

Step 1

大切な人に、このハガキにメッセージを記載し、送ります。

Step 2

このハガキを受け取った方は、ハガキの一部についている応募券を市販のハガキに貼り、送った方と受け取った方の郵便番号、住所、お名前、年齢を記入の上、下記宛先にお送りください。

Step 3

抽選で利根町名産のお米「とねの舞 (5kg)」を100組 (200名) 様にプレゼントします。当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

【応募×切】

平成28年2月28日消印有効

【送付先】

利根町役場総務課
絵ハガキキャンペーン係
〒300-1696
茨城県北相馬郡利根町布川841-1

【お問い合わせ】

TEL : 0297-68-2211

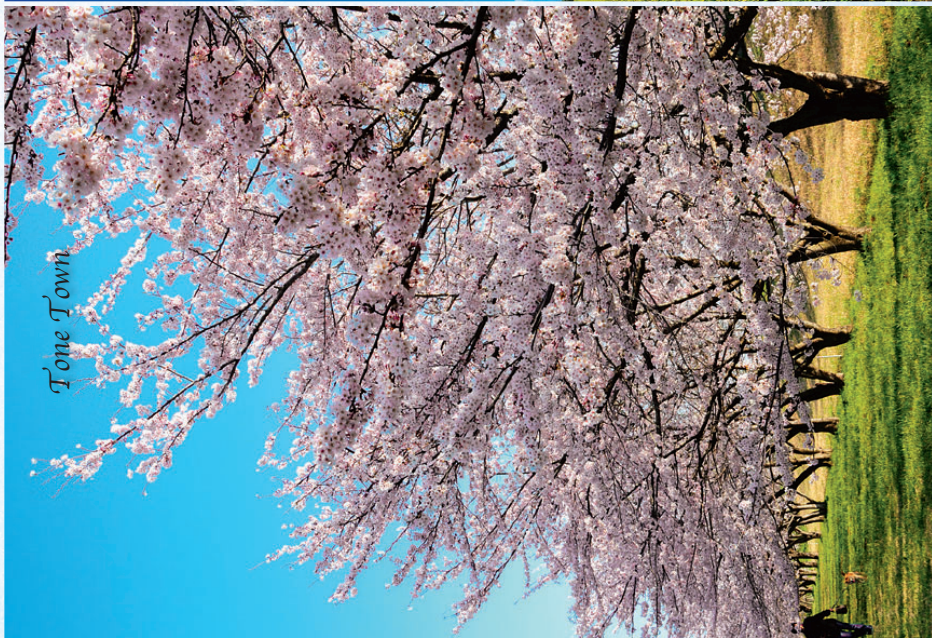
ハガキを送った人 + ハガキを受け取った人
100組 (200名) に
プレゼント!

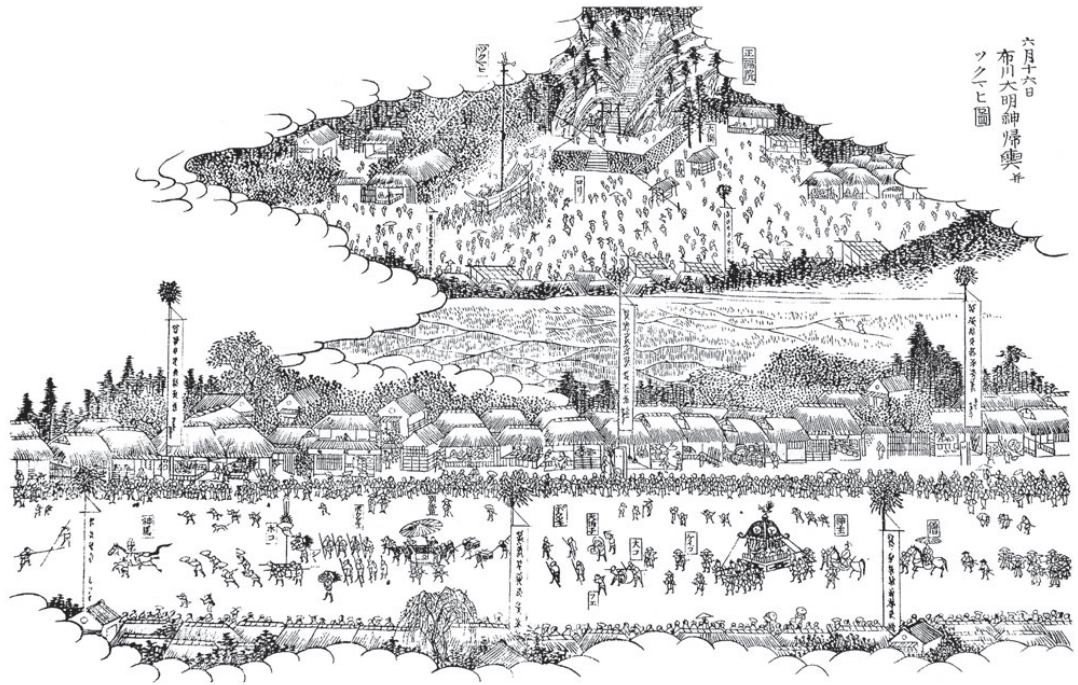


あなたの大切な人に
利根町の素敵な風景を伝えてください。

町が誕生して60周年。あなたの大切な人に町の魅力を伝えてみませんか。
日頃の思いとともに利根町の好きなところ、魅力をPRしましょう!

Send a postcard in and win some rice!
60th Anniversary Campaign





六月十六日
布川大明神帰夷井
ソクマヒ圖



町章

Town Emblem

利根町の頭文字の「と」が図案化されて2つ組み合わせられ、円形は、あさひを表します。

【昭和40年1月制定】



町の木 サクラ

Town Tree : Cherry Blossoms, "Sakura"

春に、白色または淡紅色の五弁花をつけ、ヤマザクラ、ソメイヨシノ、サトザクラ、ヒガンザクラなどのほか、八重咲きの品種もよく植えられます。

【昭和48年4月1日制定】

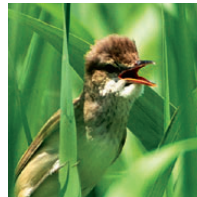


町の花 カンナ

Town Flower : Canna

花の色には、赤、白、黄、ピンク、絞り咲きなどいろいろあり、観賞用として広く栽培されています。花の咲く初夏には人々の目を楽しませてくれます。

【昭和48年4月1日制定】



町の鳥 ヨシキリ

Town Bird : Reecl Warbler, "Yoshikiri"

利根町でよく見るのは、「オオヨシキリ」で、オスは「ギョギョシ ギョギョシ」あるいは「ケケシ ケケシ」とさえずり、町内随所のアシ原で見られます。全長約18cm、体色は薄茶色。さえずると口の中が赤く見えます。

【昭和60年8月1日制定】

利根町勢要覧 2015

発行:茨城県利根町 平成27年10月

編集:利根町役場総務課

〒300-1696 茨城県北相馬郡利根町布川841-1

TEL:0297-68-2211 FAX:0297-68-7990

<http://www.town.tone.ibaraki.jp/>

制作:株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

60th Anniversary Handbook 2015
Tone town

Tone Town Office, General Affairs Division

841-1 Fukawa, Tone-machi, Kitasouma-gun, Ibaraki Prefecture 300-1696

Tel: +81-0297-68-2211

Fax: +81-0297-68-7990

Produced by Japan International Institute, Inc.

